

協会から市民の皆様へのお願い

雪対策事業は、冬の市民生活を守るためになくてはならないものです。しかし、雪対策を取り巻く社会環境は大きく変化しており、様々な課題を抱えています。それを克服し、乗り越えていくためには、市民の皆さまのご理解とご協力を頂かなくてはなりません。

除雪で困っていること

路上駐車はやめましょう

玄関前の雪処理はご家庭でお願いします

◆除雪作業の効率が落ち作業が遅れます

- 車を車庫や敷地内に入れず路上に駐車されると、車を傷つけないように避けて除雪を行わなければならない、走行スピードが落ち作業の遅れにつながります。また、蛇行することにより雪山が左右不均等の原因にもなります。
- 駐車場や屋根から道路へ雪出しをされますと、路面がザクザクやデコボコになることや、除雪により広げた道路幅が狭くなります。

◆かき分けた雪の置き場が減っています

- 新雪除雪は、雪を左右にかき分けるため、玄関や車庫前に寄せられた雪の処理は、各ご家庭のご協力をお願いします。
- かき分けた雪を置くような空き地も減っており、ロードヒーティングや民間排雪により雪処理した場所にも雪を置いていきます。

排雪で困っていること

道路への雪出しはやめましょう

◆排雪作業の効果がすぐになくなります

- 排雪した場所に雪出しをされると、せっかく広がった道幅が狭くなります。
- 交差点排雪を行った箇所にも雪出しをされると、せっかく見通しが良くなっても、すぐに見通しが悪くなります。

除雪センターへのお問い合わせは

- 近年、除雪業界においても担い手不足、人材不足が大きな問題となっています。持続可能な雪対策を維持していくため、働き方改革、労働環境改善に取り組んでいます。
- 交通障害などの緊急対応が必要なもの以外は、日中のお問い合わせにご協力ください。
 - 長時間の電話や大声・暴言を繰り返すなど、ハラスメントに該当する行為とならないよう、ご注意をお願いします。

札幌市除雪事業協会ホームページ：<https://sapporo-josetsu.jp/>

札幌市除雪事業協会だより

発行／札幌市除雪事業協会 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目2番地 北海道経済センター5階（札幌中小建設業協会内）TEL251-3166 FAX251-7740



生活道路除排雪の 在り方検討に向けて

札幌市
市長 秋元 克広

札幌市除雪事業協会の会員の皆様におかれましては、日頃より札幌市の雪対策事業に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に対応した除排雪体制を構築し、厳しい気象条件のもと、大変過酷な業務を担っていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は、1月中旬以降まとまった降雪が続き2月中旬には最高気温 10℃を超える日が3日間あり、記録的な高温となったことで、全市的にザクザク路面が発生するなど、例年と比べ特異な気象となりました。

このような中、皆様には臨機に除排雪作業にご尽力いただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、札幌市では生活道路の除排雪について、宅配や在宅介護サービスの増加などによる市民ニーズの変化や、パートナーシップ排雪における地域支払額の上昇などの課題解決に向けて、生活道路除排雪の在り方検討を進めているところです。

今年度から、有識者や除雪事業者のほか、市民委員などにより構成する「持続可能な生活道路除排雪の在り方検討会」を立ち上げ、生活道路除排雪の今後の在り方について意見交換や議論を重ねており、協会の皆様にも、検討を進める上で必要な除排雪作業の試験施工にご協力いただいております。

今後も、社会環境の変化に柔軟に対応し、本市の除排雪事業を持続可能なものとしていくためには、協会の皆様とより一層連携の強化を図りながら、様々な取組を推進していく必要があると考えておりますので今後ともご協力をお願いいたしたく存じます。

最後になりますが、雪対策事業に対する皆様のご尽力に深く敬意を表するとともに、これからの札幌市除雪事業協会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます、ご挨拶いたします。



会員相互の連携を 図り安全で迅速な 除排雪作業を

札幌市除雪事業協会
会長 宮浦 征宏

今年もまもなく冬を迎え、本格的な除排雪作業が行われる季節となりました。札幌市除雪事業協会では、除雪シーズンを迎えるにあたり、今冬も除雪事業における作業を安全にやり遂げる決意を表明いたします。また、除排雪作業について、関係各位並びに市民の皆様にご協力をお願いし、皆様とともに安全・安心な冬の道路環境を確保していく決意であります。

さて、昨シーズンを振り返りますと、シーズン当初は少雪傾向でしたが、1月中旬にまとまった降雪が数回続き通学路排雪・幹線道路排雪を急遽前倒して実施しました。2月に入ってから気温 10℃を超える日が続き 17℃を記録した日もあり、生活道路など路面管理に苦慮しました。3月に入っても 20cm の降雪があり、気温も低い日が続くなどシーズンを通して特異な気象でありましたが、関係各位のご指導の下、除排雪作業、路面管理を行うことができ、また市民の皆様のご協力もいただいたこともあり市民生活へ大きな影響を及ぼすことなく、シーズンを終えることが出来ました。

近年は温暖化の影響から少雪、大雪、暖気、冬の降雨など予測できない気象状況に加え除雪機械、ダンプトラックや人手の確保などに苦慮する状況であります。協会としてはどのような状況であっても臨機にかつ柔軟に対応できるような除雪体制を確保できるよう会員企業間の連携を図り、札幌市のご指導の下、冬の市民生活を守るために安全で迅速な除排雪作業を行ってまいります決意であります。これから本格的な除雪シーズンに入りますが、市民・行政・企業の三者の連帯をより一層強め、それぞれが担う雪対策の役割を再度確認してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。結びとなりますが、無事故・ゼロ災害を目指し、今冬の除排雪作業の安全並びに関係各位のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

2024 年 協会のできごと

■除雪機械実技研修会（1月29日）

除雪機械実技研修会は厚別区・南区・手稲区土木センターの構内を研修場所とし利用させていただき実施しました。研修参加予定者は当初50名程度でしたが、除排雪作業の優先や連続勤務にならないなど勤務状況を考慮した結果、40名ほどが研修に参加することになりました。研修会場のひとつである南区土木センターでは、宮浦会長や札幌市建設局長をはじめ雪対策室職員、関係区土木部職員が参加し、研修の様子を見守りました。除雪グレーダ、ショベル、小型ロータリを使用し、20歳代から30歳代を中心とした若手オペレーターが参加しました。研修者には女性、外国籍の方もおりベテランオペレーターの指導の下、真剣に実技研修に取り組んおりました。



■道路維持主任意見交換会（4月12日）

札幌市民交流プラザの会議室で開催しました。役員10名、道路維持技術主任者19名が出席し意見交換を行いました。事前にアンケート調査を実施しそれに基づき各区マルチの道路維持主任が発言しました。2024年から建設業においても「働き方改革関連法」が適用されることからこれに関する意見やオーバーレイや根本的な道路・路面改良を望む意見が出されてました。この会議で出された意見・要望などを参考に札幌市への要望事項が取りまとめられました。



■除雪センター長・雪堆積場主任意見交換会（5月17日）

札幌市民交流プラザの会議室で開催しました。役員9名、除雪センター長19名、雪堆積場主任4名が出席し、事前に提出していただいた「改善要望事項・意見等」をもとに意見交換を行いました。除雪センターの体制や交通誘導員の実態に応じた積算などについて、意見や要望がだされました。この会議で出された意見を参考に札幌市への要望等が取りまとめられました。



■代表者懇談会（6月24日）

札幌市民交流プラザ3階クリエイティブスタジオで代表者懇談会を開催しました。札幌市から、雪対策室長・計画課長・事業課長・係長、道路維持課長・係長、道路管理課長・係長の12名の方に出席していただきました。はじめに主催者として宮浦会長があいさつ。次に札幌市の出席者が紹介され代表で茂木雪対策室長が挨拶されました。そのあと三鍋副会長の進行により除雪業務要望6項目と、道路維持管理業務要望4項目を野田除雪委員会委員長が各要望の主旨、内容を読み上げ、それぞれについて札幌市の担当所管課長より回答をいただきました。



■定期総会（7月24日）

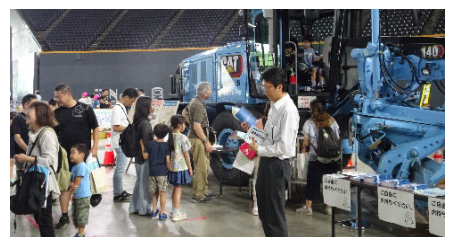
ホテルモンレーエーデルホフ札幌で定期総会を開催しました。会員企業209社のうち出席115社、委任状65社でした。宮浦会長のあいさつのあと、千葉副会長の進行により三鍋副会長が議長に選出され議事に入りました。令和5年度事業報告、収支決算及び監査結果が報告されました。次に令和6年度事業計画案、収支予算案が上程され審議の結果すべて承認され定期総会を閉会しました。そのあと「意見交換・懇親会」を行いました。当協会会員110名余が出席し、札幌市から天野副市長をはじめ荻田建設局長、関係部長が出席し意見交換を行い盛会となりました。



■イベント参加（7月24・25日）（9月17・18日）

広報活動のひとつとして、札幌市が主催するイベントに参加しました。除雪機械を出展し試乗体験を通じて除雪従事者の魅力PRと雪対策事業への市民理解と雇用促進を図りました。

○8月24日（土）25日（日）に大和ハウスプレミストドーム（札幌ドーム）で開催された「環境広場さっぽろ2024」に除雪グレーダ、小型ロータリを出展しました。当協会ブースには約1600人が来場し、小学生、未就学児童などが興味津々に試乗していました。



○9月17日18日に東区のつどーむで札幌市内・近郊の高校生を対象とした「ジモトのシゴトワク！WORK！」に除雪グレーダ、大型ロータリを出展しました。当協会ブースには約780人が来場しました。

